



迎春

本年もよろしくお願ひいたします

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、穏やかで健やかな新春をご家族おそろいで迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと「第二期中期事業計画」や「エネルギー研究開発拠点化計画」が2年目を迎え、本格的に研究や事業に取り組み、大変に充実した一年でありました。

研究開発では、陽子線がん治療研究が、平成21年度中の治療開始に向け、専用施設の準備が着実に進められているほか、今後、研究の大きな柱として期待している太陽炉の製作も進んでおります。また、何より、昨年は特許出願や品種登録に7件もの申請ができたことが、大きな成果でありました。

また、拠点化推進においても、「原子力・エネルギー関連技術活用研究会」におけるこれまでの取組みの成果として国の競争的研究資金に2件採択されたほか、敦賀「原子力」夏の大学の開催や科学機器等を活用した「技術支援・相談」、企業訪問などにも積極的に取り組み、「エネルギー研究開発拠点化計画」の実現に向けて着実に前進することができました。

このような取り組みの結果、徐々に出始めた成果の芽を枯らせることなく、大きな実や花が咲くまでに、全力で育てていきたいと思ひます。幸い当財団には、専門的知識や技術的ノウハウを持った人材とともに高度な科学機器など、人的、物的資源に恵まれておりますので、こうした資源を最大限活用して、地元の産業振興に繋げていきたいと思ひます。

さて、今年の干支は亥ですが、「猪突猛進」という言葉のごとく、「中期事業計画」や「拠点化計画」の実現に全力で取り組み、財団が大きく飛躍する年にするべく、なお一層の努力をする所存です。皆様の一層のご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。

年頭に当たり、皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。



財団法人若狭湾エネルギー研究センター
理事長 旭 信昭



「エネルギー研究開発拠点化」に取り組む
若狭湾エネルギー研究センターの空撮（敦賀市長谷）



平成21年度開業に向けて準備中の
陽子線がん治療施設（イメージ図）



産学
連携

未来技術創造セミナー ～福井からの発信～

平成 18 年 12 月 9 日(土) エネ研

「エネルギー研究開発拠点化計画」と「最先端技術のメッカづくり基本方針」の推進策として実施中の「ふくい未来技術創造ネットワーク推進事業」において、今回「福井からの発信」と題したセミナーを開催しました。これは中小企業の産学官連携へのきっかけづくりを期待したもので、関係者約 200 名が出席し、講演とパネルディスカッションを行いました。

まず基調講演では、政策研究大学院大学の橋本久義教授が「日本の中小企業は世界の宝」と題して、欧米やアジアと比較しての日本企業の勤勉さ、がまん強さ、今後の有望さなどを話され、熱いエールが送られました。次に、パネルディスカッションでは、若狭や丹南の企業経営者と近畿圏などの産学官連携の推進者からそれぞれの取り組みが紹介されました。



第2部 パネルディスカッション登壇者 写真左から

- コーディネータ 堀 照夫[福井大学 学長補佐]
- パネラー 橋本 久義[政策研究大学院大学 教授]
- 藤村 栄一[倉茂電工(株) 取締役]
- 矢野 秀夫[若狭技研工業(株) 代表取締役]
- 坂根 政男[立命館大学 教授]
- 吉井 文男[日本原子力研究開発機構 産学連携推進部 研究主席]
- 芝田 克明[経済産業省 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部長]

広域
連携

原子力研究・教育広域連携懇談会を実施

平成 18 年 12 月 26 日
エネ研

報告書とりまとめに向け検討結果を報告

昨年 11 月に発足し、教育連携と研究連携の 2 つのワーキンググループでそれぞれの課題を検討してきました。その検討結果が 12 月 26 日に開催された第 3 回の懇談会で報告されました。これらを今年 1 月中に報告書としてとりまとめ、関西・中京圏の大学・研究機関との連携を強化する施策の展開を図る予定です。

主な検討結果

研究連携 WG

- 原子力研究広域連携シンポジウムの来年度以降の継続実施
- 共同研究促進のため関西・中京圏の大学、研究機関が参加する協議会の設置
- エネ研の機器を活用した共同研究促進を図るための提案公募制度の創設
- 中長期的な観点から必要となる共同利用施設・設備(研究用原子炉、ホットラボ、加速器など)や体制等についての調査・検討

教育連携 WG

- 福井大学、福井工業大学の講座拡充等
- 敦賀「夏の大学」の来年度以降の充実実施
- 大学間の教員の相互派遣、共通項目化実現のための連携体制整備



検討状況等の報告

原子力研究・教育広域連携懇談会 とは

平成 17 年 3 月に策定した福井県「エネルギー研究開発拠点化計画」に基づき、研究開発機能の強化や人材の育成を図る一環として、関西・中京圏を含めた県内外の大学や研究機関などが参加する『原子力研究・教育広域連携懇談会』(会長;木村逸郎原子力安全システム研究所・技術システム研究所長)を 11 月に設立。

原子力・エネルギー研究および教育の充実を図るよう、原子力関連施設の活用による共同研究の推進や共同利用施設のあり方などの検討を進めるため、懇談会内に二つのワーキンググループを設置。

- 研究連携ワーキンググループ(主査;中川英之福井大学学長補佐)
- 教育連携ワーキンググループ(主査;福井卓雄福井大学工学部教授)

予定

北陸地域クラスターフォーラム 2007 1 月 30 日(火) 於:石川県地場産業振興センター

原子力・エネルギー関連技術シーズ発表会 2 月下旬 於:エネ研ホール